

のり養殖通報第11報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成27年2月19日発行

[気象]今後も周期的に冬型強まる

- 2月は寒暖差が激しく、一時的に暖かい日も出現しているが、気温は概ね平年より低めで経過している(図1)。
- 2月1~18日の木更津観測所における降水量は45mm(平年35mm)、平均日照時間は6.4時間/日(平年5.9時間)。周期的にまとまった降雨があるが晴天が多く日照時間は平年を上回った。
- 気象予報によると、今後も一時的に気温が上昇するが、変動が激しく周期的に低気圧が通過し天候が変化すると予報されている。

[海況]内湾で植物プランクトン増加、リンがやや減少。

- 内房ののり養殖漁場に断続的に波及していた外洋水はやや弱まり、湾口部の水温も14℃台で経過。新富津のり漁場における観測値でも水温は一段階降下し現在は11℃前後で経過している(図2)。
- 2月16~17日に実施した東京湾の観測結果では、表層水温は概ね内湾8~10℃台、内房ののり養殖漁場は10~11℃台で1月下旬からほぼ横ばい。内湾では植物プランクトン(タラシオシラ等の小型珪藻)がやや多く、透明度が低下している地点がある。最も色落ち被害をもたらすユーカンピアも散見され始めた。その影響で特に盤洲以北でリンの濃度が低下してきた。現時点では顕著な色調低下が生じるレベルではないが、今後の動向に注意が必要(右表)。

[今後の見込みと留意点] 生産のピーク形成を

- 17~18日にもまとまった降雨があり栄養塩は回復に向かっていくことが期待できる。今後も周期的な降雨による栄養塩持続に期待
- 全国の主力漁場で色調低下が進む中、2月19日に実施された第9回共販では多くの等級の単価が上昇し、相場は上向いている。良質ノリを増産し、生産のピークを築いて下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。

次回は3月4日頃発行します。

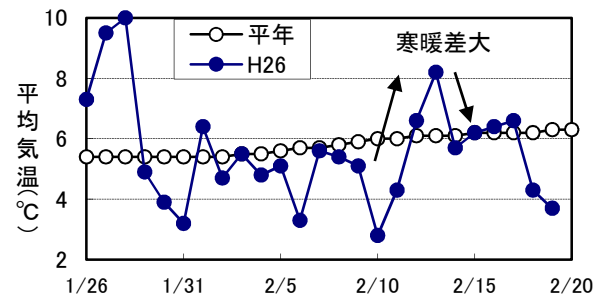


図1 日平均気温 平年との比較(千葉)

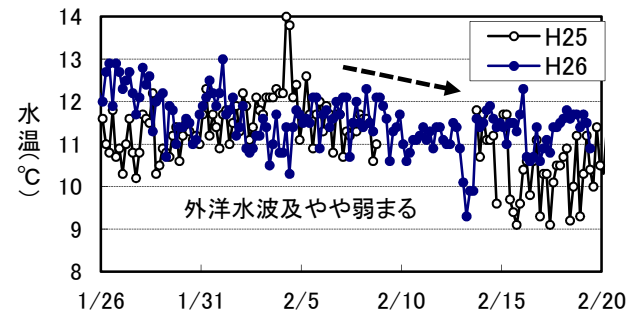


図2 昨年と今年の水溫経過(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(内湾2/16, 内房2/17)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	9.1	32.4	8.4	4.3	385	8
盤洲Cブイ	11.7	32.4	8.4	4.2	360	6
盤洲Aブイ	10.3	32.5	8.4	4.0	339	5
富津ベタ	9.6	32.9	8.3	3.0	319	15
2海ほ下	10.9	33.7	8.3	4.4	287	15
1海ほ下	11.7	34.1	8.2	4.7	244	15
下洲ベタ	11.5	34.0	8.2	5.7	238	13
大貫ベタ	11.4	34.1	8.2	6.8	211	12
湊ベタ	10.4	33.8	8.3	4.3	144	4

*溶存無機態窒素 (μg/l)、**リン酸態リン (μg/l)

※ノリの色調保持に必要な量=窒素100, リン10